

競技要項 第4項の詳解

野村謙二郎 CUP リトルシニア予選 競技要項第4項については、下表のとおり行う。

	代表決定戦まで	代表決定戦
試合成立	5回完了	
正式試合	7回	
投球回数制限	あり（捕手も含む）	
時間制	あり（2時間制）	
コールド	あり（4回：10点差、5回：7点差）	
延長戦	なし	
タイブレイク	あり（最大3イニング）	あり（決着がつくまで）
抽選決着	あり（タイブレイク後、同点の場合）	なし
審判	全審：各チームから2名ずつ派遣	
禁止事項	一日4試合、ナイターゲーム ※全て原則	

上表の詳解については下記のとおり。

【代表決定戦までの適用について】

（試合成立ならびに正式試合と時間制）

試合は7回まで試合を行い、時間制を採用する。試合開始から2時間を超えて新しいイニングには入らない。

※ 但し、以下の場合例外とする。

- 1 試合成立は5回までとし、5回までは2時間を超えても試合を行います。
- 2 後攻チームが攻撃中、後攻チームがリードしている際に2時間が経過した場合は、その時点で試合を打ち切ります。

（コールドゲーム）

4回10点差 または 5回7点差。

（延長戦）

延長戦は行いません。

（タイブレイク）

試合開始から2時間または7回を終了し、同点の場合は次の回から最大3回のタイブレイク戦に入ります。

（抽選決着）

タイブレイク戦でも決着がつかない場合は、最終メンバーにて抽選決着を行います。

【代表決定戦の適用について】

(タイブレイク)

代表決定戦については、**勝敗の決着がつくまでタイブレイク戦を行います。**

(抽選決着)

勝敗が決まるまでタイブレイク戦を行うため、**勝敗抽選は行いません。**

！重要！タイブレイク戦に入った時点でタイムカウントは止まります（時間制の適用外）

- ・ **タイブレイク戦**は正式試合が成立後、**同点の場合は必ず適用**します。（2 時間超えていても必ず実施）

例：5 回終了後、2 時間を経過し同点の場合は、6 回から最大 3 回タイブレイク戦を行う。

6 回終了後、2 時間を経過し同点の場合は、7 回から最大 3 回タイブレイク戦を行う。

7 回終了後、同点の場合は、8 回から最大 3 回タイブレイク戦を行う。

- ・ タイブレイク戦を行っている途中に **2 時間を経過しても、途中で打ち切りません。**
- ・ 最大 3 イニングのタイブレイク戦を戦い、それでも同点の場合のみ、両チームの最終メンバー 9 名ずつにて抽選決着を行います。（**抽選は代表決定戦以外適用。決定戦は勝敗がつくまで行います**）

【サスペンデットゲーム（特別継続試合）について】

降雨などにより、試合の途中で中止された場合、特別継続試合を適用します。

(適用するケース)

- ・ 正式試合（5 回完了）になる前に中止になった場合。
- ・ 試合成立後、7 回を完了するまでに、残り時間がある場合。

(特別継続試合のルール)

- ① 中止となった元の状態から継続するため、**元の試合で交代した選手は出場できない。**
- ② 監督・コーチの交代は認めるが、試合前に大会本部へ変更メンバー表を提出すること。
- ③ **投手の投球回数制限はそのまま生きる（リセットされない）**
- ④ 残り時間は元の試合の経過時間から引き継ぎ、合算で 2 時間とする。
- ⑤ 特別継続試合の日時、球場、審判員は大会本部にて決定する。

注 1）特別継続試合は、原則として、**翌日の第一試合**に割り当てられます。

注 2）**試合成立後（5 回終了後）に中止となった場合は、リードしているチームが勝利となり、特別継続試合は適用されません。**（代表決定戦も含む）

注 3）試合成立後（5 回終了後）同点で試合が中止の場合は特別継続試合を適用します。

※但し、代表決定戦においては、7 回終了後、**タイブレイク中に、中止となった場合は、特別継続試合は適用されず、最終メンバーにて抽選決着を行います。**

注 4）試合中止の判断は、審判員、大会役員、球場責任者の協議判断によるものであり、当該チームが意見を申し出ることはできない。（日没の場合も含む）